

月刊 工連ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



湧きあがる「創造力」でリードする。

- 第38回沖縄の産業まつり出展募集
- 2014年 県産品奨励月間実績報告
- 元気カンパニー「(株)沖縄電子」
- ボイスシリーズ
より頼りにされる試験研究機関を目指して



9月号
2014
Vol.598

県内唯一! サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供!



今年も
「沖縄の産業まつり」に
出展します。
平成26年
10月24日(金)~26日(日)

モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リューキュクスタワー、
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!

「モトブオリオンリゾート&スパ」及び地上30階建ての「那覇新都心リューキュクタワーマンション」
で採用されました主力製品「ハイパーサッシ」は、当社風洞試験において、「96m/秒」相当の風圧
に耐えられる事が実証されています。



金秀アルミ工業株式会社
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100
鋼建事業部 098-835-8101
軽金事業部 098-835-8102

contents

- 2p ➡ voice vol.102
より頼りにされる試験研究機関を目指して
沖縄県工業技術センター所長 與座 篤弘
- 3p ➡ 第38回沖縄の産業まつり出展募集
- 4p ➡ 2014年県産品奨励月間
第2回実行委員会
- 5p ➡ ちばりよ～県産品
農業・食育・ものづくりを通し
人々の心と体の健康づくりに貢献
農業生産法人 株式会社あいあいファーム
- 6・7p ➡ キラリ！元気カンパニー「沖縄の北極星 ニヌファブシ」
「沖縄の秋葉原」を目指し
エレクトロニクス業界を牽引
株式会社 沖縄電子
- 8p ➡ 食育講演会
沖縄総合事務局
- 9p ➡ 工場や事業所で、安くてお得な
工業用水を利用してみませんか？
沖縄県企業局

- 10p ➡ 平成26年度
九州各県工業団体事務局連絡協議会 沖縄会議
(公社)沖縄県工業連合会
- 11p ➡ 沖縄県JIS協会
平成26年度 第一回理事会・第41回通常総会
- 12p ➡ 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
短いメッセージを
自動処理するための取り組み
- 13p ➡ 沖縄高専だより
サマースクールを開催しました
- 14p ➡ 沖縄職業能力開発大学校
平成26年度能力開発セミナーのご案内
- 15p ➡ 工業技術センターだより
地域新産業創出基盤強化事業による
導入機器の紹介 vol.④
- 16p ➡ トピックス
「人材不足分野における雇用管理改善」及び
「非正規雇用労働者の正社員転換等」に係る要請
会員の皆様へ
～機械類貸与制度のご案内～
機械設備の増設・更新をお考えの皆様へ

2014 AUGUST 8 工連日誌

- | | |
|--------|---|
| 5日(火) | 8月定例執行部会
●時間／16:00～17:10 ●場所／工連会議室 |
| 13日(水) | 「2014年県産品奨励月間」粟国村への要請 |
| 14日(木) | 「2014年県産品奨励月間」第2回実行委員会
●時間／14:00～15:00 ●場所／ホテルロイヤルオリオン |

- | | |
|--------|--|
| 18日(月) | 「第38回沖縄の産業まつり」ポスター制作・広報宣伝説明会
●時間／11:00～11:30 ●場所／沖縄産業支援センター |
| 29日(金) | 平成26年度「九州各県工業団地事務局連絡会議」沖縄会議
●時間／16:00～18:30
●場所／ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー |

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です



0570-082100

(有料)

窓口運営時間…8:30～17:15（月～金）※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申ください。

※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /

実施：一般社団法人沖縄県発明協会

098-921-2666

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへの意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/<http://www.okikouren.or.jp>

発行所／公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193
編集・印刷／有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

より頼りにされる 試験研究機関を目指して



沖縄県工業技術センター所長

與座範弘

沖縄県工業連合会並びに会員の皆様には、日頃より工業技術センターの利用並びに業務運営にご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、沖縄21世紀ビジョン基本計画では、ものづくり産業を振興するため加価値製品の開発、感性型製品の開発、ものづくり基盤技術など多岐にわたり、各分野において製品化や製造工程の向上、品質の改善等に活用されています。また、研究形態も国や県の予算による技術シーズの創出に関する研究のほか、企業からの受託研究や企業連携共同研究を実施しており、研究のパートナーとして当センターを利用しています。当センターは工業系の試験研究機関として、ものづくりを担う製造業振興のための研究開発や技術支援、人材育成を行っています。今回は、その概要についてご紹介しますが、本誌に「工業技術センターだより」を連載させていただいているので、併せて、お読み頂ければ幸甚です。

当センターでは、市場競争力の強化

や新技術・新製品創出のための先導的研究に加えて企業や業界のニーズに即した研究開発を行っています。その内容によっては依頼試験や各種の開放分野は、健康食品関連、バイオ、泡盛、窯業、環境関連、機械・金属製造業等のものづくり基盤技術など多岐にわたり、各分野において製品化や製造工程の向上、品質の改善等に活用されました。これらの機器は、沖縄地域における新たな機器を導入することができます。昨年度は、内閣府沖縄総合事務局の地域新産業創出基盤強化事業により新たな機器を導入することができます。専門知識や技術の習得とともに技術課題の解決を図るなど、企業の皆様の「研究室」として利用を行っています。

当センターでは、今後とも研究開発力の向上と技術支援機能の充実、他機関との交流連携、職員の資質向上を図り、業界の皆様から、より頼りにされることができます。皆様方のご利用をお待ちしております。

結びに、貴会と会員の皆様のご活躍・ご健勝を祈念申し上げますとともに、今後とも、当センターの業務にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日頃の製品造りや新製品開発・新技術開発を行う上で直面する技術的課題を解決するため、各種の技術支援を行っています。研究員が面談や電話等で技術相談をお受けし、技術課題の内容を把握するとともにそれぞれの保

ため、技術ニーズに即した技術研修を実施しています。また、金型技術研究センターでは、金型技術のほか、マイクロEVの設計等を通じた技術者の育成を行っています。専門知識や技術の習得とともに技術課題の解決を図るなど、企業の皆様の「研究室」として利用を行っています。

当センターでは、今後とも研究開発力の向上と技術支援機能の充実、他機関との交流連携、職員の資質向上を図り、業界の皆様から、より頼りにされることができます。皆様方のご利用をお待ちしております。

結びに、貴会と会員の皆様のご活躍・

ご健勝を祈念申し上げますとともに、今後とも、当センターの業務にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当センターでは、市場競争力の強化

第38回沖縄の産業まつり出展募集



沖縄の産業まつりは、県内の全産業を網羅した総合産業展として位置づけており、
本県を代表する一大イベントとして定着しております。
今年も「美ら島の 魅力がギュッと 県産品」のテーマの下、
新規事業や会場レイアウト等の充実に向けて事務局も鋭意取り組んでおります。
多くの県内企業の皆様が出演していただき、
沖縄の産業をPRしていただきますようお願い申し上げます。

- 出展期間：平成26年10月24日（金）～26日（日）
- 出展場所：奥武山公園・県立武道館
- 出展条件：県内で生産・製造・加工された県産品に限る
- 出展料：【工連会員企業】
テント（2間×4間）／11万円（展示のみ10万円）

【その他】
テント（2間×4間）／15万円
- 申込方法：所定の申込用紙を事務局より入手していただき、必要事項を記入の上、
公益社団法人沖縄県工業連合会事務局へお申し込みください。
- 申込締切：定数に達し次第締め切ります。なお、準備の都合がありますので早め
にお申し込みください。
- 問い合せ：沖縄の産業まつり実行委員会事務局（公益社団法人沖縄県工業連合会内）
電話／098-859-6191 FAX／098-859-6193



2014年 県産品奨励月間 第2回実行委員会

2014年県産品奨励月間第2回実行委員会がホテルロイヤルオリオンにて行われました。湧川昌秀実行委員会会長をはじめ、JAおきなわ普天間朝重代表理事専務、沖縄観光コンベンションビューロー内間仁春常務理事、他実行委員が一堂に会し、本年度の事業実績を振り返ったうえで、来年度以降の県産品優先利用についてより効果的な普及活動を展開するかといった課題について審議されました。

実行委員会事務局による事業実績報告のうち、各団体からそれぞれの立場での取り組み・キャンペーン等について報告されました。

工業連合会では、県産品の日（7月1日）に関する事業や広報キャンペーング、国、県、市町村等に対する県産品優先使用についての要請活動、県産建材、リサイクル関連企業訪問、沖縄県との県産建設資材優先使用に関する意見交換会といった事業を主導しています。本年度も様々なメディアに大きく取り上げられ、国際通りでのパレードをはじめとするPR活動を通して県民の周知にも

結び付けられる等、一定の成果を挙げています。

その他、県ものづくり振興課（「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」及び「大型プロジェクト建設工事発注方針」についての県の要請、沖縄県優良県産品展示会等）、商工会連合会（地元産品奨励及び地元企業優先使用の要請活動等）、物産公社（わしたショッピング国際通り本店・那覇空港わしたショッピング合同周年祭開催等）といった団体から県産品奨励月間にまつわる様々な事業の実施と実績が報告されています。

委員による意見交換、質疑応答では、「ふるさと企業訪問への北部地域からの参加者のためのシャトルバス等の配慮」や「かりゆしウェア着用のさらなる普及」等様々なテーマで活発に意見が交わされました。

湧川実行委員会会長は、「県産品奨励に関する各種事業及びキャンペーングの実施を通して県産品奨励運動への県民の関心と県産品使用への意欲をよりいっそう高めることができた」と振り返りながら、「今後もより高水準の製品作りに励み、品質、

価格とともに適正な県産品普及に努めることによって沖縄県の産業振興と雇用拡大に繋げたい」と抱負を述べています。

約1時間の会議において、本年度も実行委員と各団体が一丸となつて県産品奨励月間の様々な事業に取り組んだ結果を確認、あらためて県産品使用奨励の重要性を共有して閉会となりました。



沖縄県の産業振興と雇用拡大に寄与する姿勢を再確認

島の
魅力が
キュン!
県産品

7月31日
県産品奨励月間



ちばりよ～県産品

**農業生産法人
株式会社あいあいファーム**

●本社／沖縄県国頭郡今帰仁村湧川369

TEL.0980-51-5111・FAX.0980-51-5112

<http://happy-aiaifarm.com/>



旧湧川小学校跡地に今年3月オープンしたあいあいファームは、有機無農薬の野菜農園をはじめとする農場、天然酵母のパンや無着色ソーセージの手作り工房、自社工房で製造した地窯豆腐や玄米味噌、有機野菜を使用したドレッシングやジャムを販売する直売所・カフェのほか、農業やものづくり体験各種に加え、宿泊所を兼ね備えたこれまでにない形態を持ち、農業と食育とともにづくりを通して、人の心と体の健康作りを目指した教育ファーム事業として、農村の雇用・所得を確保し、地域資源をいかした生産・加工・販売の6次産業化を推進しています。

施設内に新設したばかりのレストランでは、可能な限り地元の食材を使い、健康に気を使った料理が提供され多くの地元客が足を運んでいます。

自社農場や契約農家から仕入れた県産野菜などをふんだんに使い、可能な限り無添加にこだわって製造されるオリジナルジャム、「ドレッシングは沖縄土産やご贈答品としても好評を得ています。「乙羽たんかんのたんかんジャム」は六次産業加工商品すぐり

農業・食育・ものづくりを通し 人々の心と体の健康づくりに貢献

旧湧川小学校跡地に今年3月オープンしたあいあいファームは、有機無農薬の野菜農園をはじめとする農場、天然酵母のパンや無着色ソーセージの手作り工房、自社工房で製造した地窯豆腐や玄米味噌、有機野菜を使用したドレッシングやジャムを販売する直売所・カフェのほか、農業やものづくり体験各種に加え、宿泊所を兼ね備えたこれまでにない形態を持ち、農業と食育とともにづくりを通して、人の心と体の健康作りを目指した教育ファーム事業として、農村の雇用・所得を確保し、地域資源をいかした生産・加工・販売の6次産業化を推進しています。

施設を運営する農業生産法人株式会社あいあいファームは、レストラン「だいこんの花」をはじめ数々の飲食店をチーン展開する株式会社アメニティグループが主体となって形成されており、施設支配人を務める比嘉氏は、「飲食店を経営していく中で食生活・食文化の重要性を実感し、沖縄の人々の健康と豊かな生活をサポートするためになかなかできないか」という考え方から事業をスタートさせたと締話をします。

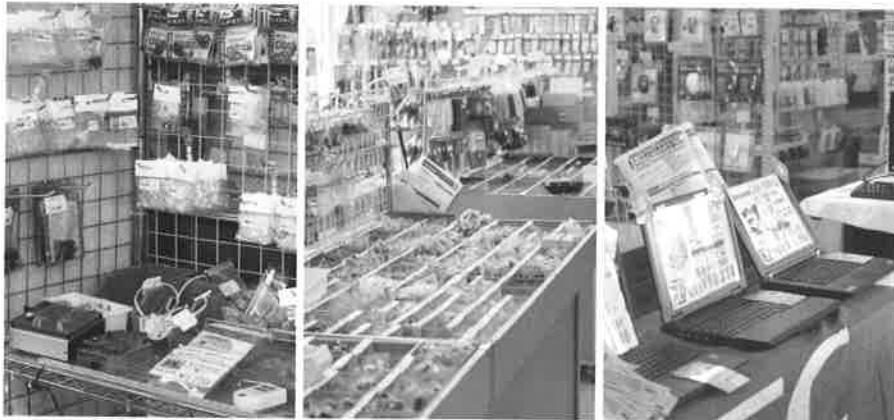
「健康長寿沖縄復活によって、沖縄の産業・経済にも好影響が生まれます。偏った食事による生活習慣病や家庭での孤食といった食に関する課題を重く受け止め、地域や学校、行政、企業が一丸となって食育に取り組むことが大切です」とし、「地産地食」をテーマに今後も新しいプロジェクト企画や新商品開発に力を入れていくつもりだと事業への自信を漲らせていました。



手間をかけて丁寧に育てた、「やんばるの自然の恵み」からなる加工食品は、昔ながらの製法により、素材本来の香りが楽しめると好評。

「沖縄の秋葉原」目指し エレクトロニクス業界を牽引

株式会社 沖縄電子
代表取締役 宮城 啓



宜野湾市の沖縄電子本社には様々な電子部品が所狭しと並び、また、一般からプロユースまでのパソコン関連商品も販売。



県内唯一の専門店として
老舗ならではのきめ細かいサービス

復帰元年である昭和47年の設立以来、株式会社沖縄電子は、電子部品、電子工作キット、無線機器、セキュリティシステムの販売、パソコン販売、ネットワーク構築、保守業務と幅広く手掛けており、沖縄県内トップクラスの品ぞろえと老舗ならではのきめ細かいサービスにより、企業、個人の顧客を多く抱えています。

現在では、パソコンやスマートフォンといった電子機器が広く普及しており、宜野湾にある店舗でもパソコン周辺機器販売等の業務を主に手掛けていました。コンピュータが普及した現在でも、半導体や電線といった部品を取り扱う店はごくわずかであり、代表を勤める宮城啓一氏は、「沖縄の秋葉原」を目指し沖縄電子の存在意義を高めたいと意欲を燃やしています。

創業当時は電子部品の一般向け販売に加え、米軍へのコンピュータ周辺機器販売等の業務を主に手掛けていました。コンピュータが普及した現在でも、半導体や電線といった部品を取り扱う店はごくわずかであり、代表を勤める宮城啓一氏は、「沖縄の秋葉原」を目指し沖縄電子の存在意義を高めたいと意欲を燃やしています。

「東京秋葉原へは頻繁に足を運びますが、あの巨大なスペースと膨大な品揃えにはやはり感動させられます。規模は違いますが、沖縄電子も、ここへくれば電子機器に関するものはなんでも手に入るという場所でありたい」と宮城氏は語ります。

創業者の息子にあたる宮城氏は、幼少期から電子機器に触れて育ってきた自身の体験から、それによってもたらされる高揚や知的満足感を広めることも目標のひとつとしています。

その取り組みとして、店内に無料体験コーナーを設置し、実際に半導体や回路部品に触れ、自ら組み立てることで、創作意欲を高める工夫をしています。また小学生と父兄を対象に、親子で協力して組み



ニヌファブシ(北極星)とは、
航海の時、船の進むべき方向を照らし、
教える重要な星ということ。
「世の中の目標となる星になりなさい。」という
意味も持つ沖縄のことばです。



「おもしろ簡単科学キット」は、親子で「ものづくり」の楽しさを体験していただこうと、バラエティに富んだ商品を数多く取りそろえてあります。



「無料電子工作コーナー」では、ブロッコリからの信頼も厚い専用の工具類を取りそろえ、自由に試せるスペースが設置されています。
(使用上の条件あり)

自社技術のノウハウが活かされ、今年発表された「独立型ソーラー防犯灯」は県産品マークも取得。



株式会社 沖縄電子

業種 電子部品、無線通信機器、パソコンおよび関連商品の開発・販売
設立 昭和47年(1972年)
代表者 宮城 啓一
住所・連絡先 沖縄県宜野湾市大山3-3-9
TEL.098-898-2358
FAX.098-897-3178
オフィシャル サイト <http://www.okinawadenshi.co.jp/>

立てられるLEDライト等を製作する電子工作教室も主催。ハンドゴテを手に部品を組み立て完成した機器を手に喜ぶ子供たちの姿を見ることで、講師役を務める社員たちのモチベーション向上にもつながっているといいます。

「夏休みの時期には自由研究のための工作キットを買い求める親子連れのお客様が多くいらっしゃいます。子供さん以上にお父さんが夢中になつて商品を選んでいる姿も印象的ですね」と宮城氏は笑顔を覗かせます。

「パソコンやスマートフォンを使つときには、ただ操作するだけでなく、『なぜこのボタンを押すとライトが光るのだろう』、『この機能はどんな仕組みでできているのだろう』など、疑問を抱き、機器への興味を持つてもらいたいのです。その小さな興味が大きな発明へつながるのだ信じています」と語り、将来沖縄のものづくり業界を背負つて立つ子供たちのための社会貢献にも意欲を高めていました。

ソーラー電源使用の県産品電子機器開発

父から会社を継いで8年となる宮城氏。老舗として先代から受け継ぎてきた技術と信頼を守りながら、新しいことへも積極的に挑戦していくといった語ります。

既製品の販売のみならず、これまで培ってきた技術力を活かして自社ブランドの開発にも力を入れています。

不法投棄対策に頭を悩ませている自治体関係者から相談を受け開発した独立型ソーラー監視カメラシステムは、ソーラー電源を使用することにより電源のない場所にも設置可能であるばかりでなく、ランニングコストをゼロに抑えられます。繰り返しの充放電にも強い製品として完全密閉型シールドハウジングを採用することにより、さらに耐久性を増しており、これまで防犯灯を設置しにくくとされていた林道や建物の少ない場所にも設置できるようになりました。

「ソーラー電源使用機器は電気配線工事を必要とせず、様々な場所に設置できるため、防犯効果に役立てていただけるのではないかと考えます。また、開発から製造まで当社で行い、部品もできる限り

がなくなり、地域から感謝されたといいます。その後もソーラー電源を使用した様々な製品を開発・製造しており、今年発表した独立型ソーラー防犯灯は県産品マークも取得。沖縄生まれの電子製品として普及に力を注いでいます。

ケイエム産業との共同開発によつて製造した独立型ソーラー防犯灯は、LEDを使用し、約60,000時間(1日10時間使用で約16年)の長寿命を誇ります。繰り返しの充放電にも強い製品として完全密閉型シールドハウジングを採用することにより、さらに耐久性を増しており、これまで防犯灯を設置しにくくとされていた林道や建物の少ない場所にも設置できるようになりました。

今後は20名ほど社員を増員し、自社製品の開発・製造にもさらに力を入れたいと語る宮城氏。人材育成と事業拡大により、地道ながらも着実に「沖縄の秋葉原」を目指して歩みを進めています。



”県民一人ひとりが健康長寿に向けて「食」について考えましょう!“

食育講演会

沖縄総合事務局

食育基本法に基づき策定された

「第2次食育推進基本計画」により、国民の食育に対する理解を深めるための様々な食育推進運動が今年度も県内各地で実施されております。

沖縄県立博物館・美術館講堂で行われた食育講演会では、医師や管理栄養士といった食に関する専門家を招き、それぞれの視点から見た沖縄県民の食生活に関する現状や課題、生活習慣病などの防止策について講演がありました。

琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座准教授等々力英美氏は、沖縄県民の食の変遷に見る健康・長寿に与えた影響について講演し、沖縄県の一般家庭の食事が戦後どのように変化してきたかを資料に基づき解説。若年者の伝統的野菜摂取の減少、食塩の過剰摂取などの原因を挙げ、健康長寿神話崩壊への警鐘を鳴らしました。さらに、自身が提唱するチャンブルースタディ（沖縄型野菜食の介入）によって、野菜主体の伝統的沖縄型食事パターンを取り入れることで、健常人において食数あたり約40%でも一定の圧効果が見られたという研究結果を基に、伝統食材や地域のネットワー

クを活かした健康戦略の必要性を説

いています。

沖縄県医師会理事（今帰仁診療所長）石川清和氏は、医師の立場から沖縄島民の生活習慣病の現状について講演。沖縄県における肥満、生活习惯病などの様々なデータを交えながら、平均寿命と生活習慣病との密接な関係、肥満による糖尿病、脳卒中、虚血性心疾患などのリスクについて解説しました。また、生活習慣病予防として、運動や住民健診受診、アルコールや煙草の自制についてその必要性を改めて語りました。

休憩を挟んで行われたヘルスプランニングカエ代表伊是名カエ氏による栄養バランスのとれたメニューについての講演では、実際に肉、魚、野菜といった食材をバランスよく取り入れた献立が紹介されました。「必要な栄養分、食べる順番や時間」といった食生活に関する知識を得られた」と参加者からの喜びの声も聞かれました。

主催した沖縄総合事務局農林水産部消費・安全課当山清尚課長は、「沖縄県健康増進計画によつて健康長寿沖縄の復活を目指したい」とし、参加者に対して食育活動への積極的な取り組みを呼びかけました。



琉球大学大学院医学研究科准教授等々力英美氏



沖縄県医師会理事（今帰仁診療所長）石川清和氏



ヘルスプランニングカエ（代表）管理栄養士伊是名カエ氏



経営者の皆さん！

工場や事業所で、安くてお得な **工業用水** を利用してみませんか？

料 金

工業用水 35円 /m³ (税別)

利用状況によっては上水道と比較すると
↓約85% もコスト削減できる場合があります。

※契約水量を超過した場合は、1/m³あたり70円(税別)の超過料金がかかります。



使用例

原料用

工業製品原料、飼料原料、加工食品原料(要浄水処理)…など

冷却用

加工製品冷却、ボイラーコールド…など

洗浄用

工業製品洗浄、食品洗浄、洗車、トイレ…など

工業以外でも雑用水として、下水道処理場やごみ焼却場などの公共施設、クリーニング業、運送業、スーパー、ショッピングセンターなどの産業の健全な発展に資する施設については、条件付きながら使用することができます。

給水区域など

県内では、94社が年間約620万m³もの工業用水を使用しています。
(平成25年度実績)

給水区域

名護市、宜野座村、金武町、うるま市、沖縄市、北中城村、中城村、西原町、南風原町、与那原町、南城市(旧佐敷町、旧大里村区域)、八重瀬町(旧東風平町区域)、糸満市



給水対象

- 上記給水区域で、申込水量が100m³/日以上の者。
- 企業局管理者が必要と認めた者においては、30m³/日以上。
ただし、中城湾港新港地区工業団地、糸満工業団地及び
名護市久志から屋部工場適地間においては10m³/日以上。

水質・水圧

水温	濁度	pH	アルカリ度	硬度
常温	20度以下	6.5 ~ 8.0	75mg/l以下	120mg/l以下
蒸発残留物	塩素イオン	鉄	水圧	
250mg/l以下	80mg/l以下	3.0mg/l以下	0.05MPa以上	

※水圧は配水管末における最低水圧です。

お問い合わせ先

○ 沖縄県企業局 配水管理課 TEL: 098-866-2810 FAX: 098-866-2811

※ホームページより申し込み手引き及び申請用紙が入手できます。 <http://www.eb.pref.okinawa.jp/jigyo/index.html>

平成26年度

九州各県工業団体事務局連絡協議会 沖縄会議

平成26年8月29日(金) ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー



九州各県の工業団体による事業内容などの紹介では、地域ごとの特色や現状に対する課題などが具体的に示され、終始なごやかなムードで意見交換が交わされました。

九州各県の工業団体が集結し、意見や情報を交換する九州各県工業団体事務局連絡協議会が今年度はここ沖縄で開催されました。

はじめに、那覇空港近辺の国際物流関連施設を視察。沖縄県の国際物流拠点構想や海外展開のため整備されている施設を見学しました。

視察後はANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューへと移動し、連絡会議が行われ、各県ごとにそれらの団体の事業内容や取り組みについてパンフレットや総会資料等を用いた紹介があり、それぞれの地域の特徴や立場から現在の状況や今後の展開について説明されました。

開催地区を代表して挨拶した沖縄県工業連合会桑江修専務理事は、「沖縄県は米国の占領下にあつたという歴史上、工業が発展しにくいといわれてきましたが、物流拠点としての可能性、人材確保の点ではむしろ優位といえます。県外企業誘致にも積極的であり、今後さらなる国際的な展開、県産品の販路拡大が期待されます」と述べました。

沖縄県商工労働部国際物流商業課の慶田喜美男課長からは、沖縄県におけるアジアビジネス戦略・国際物

見や情報を交換する九州各県工業団体事務局連絡協議会が今年度はここ沖縄で開催されました。官民一体となつた施設整備による沖縄の物流拠点の新たな可能性については、他県の担当者も強く関心を引かれたようでした。その他にも、団体としての発展や厳しい経済状況の中での生き残り策について意見が飛び交う貴重な時間となりました。

会議終了後は同ホテルプールサイドにおいて懇親会も開催され、沖縄らしい初夏の心地よい陽光の下でバーベキューを満喫しました。懇親会には沖縄県工業連合会正副会長も参加。湧川昌秀会長は、「これを機に各県の方々と親睦を深め、相互に情報を取り交換する機会をふやしてください」と挨拶しました。

次年度の連絡協議会は佐賀県にて開催されることになります。

流事業として、ANAの「沖縄貨物ハブ」戦略やイスラム戒律に対応したハラール食等の流通加工拠点の取り組みなど様々な事例が紹介されました。官民一体となつた施設整備による沖縄の物流拠点の新たな可能性については、他県の担当者も強く関心を引かれたようでした。その他にも、団体としての発展や厳しい経済状況の中での生き残り策について意見が飛び交う貴重な時間となりました。

沖縄県JIS協会

平成26年度 第一回理事会・第41回通常総会

平成26年8月22日(金) サザンプラザ海邦



沖縄県JIS協会の総会が本年度も行われ、会場となったサザンプラザ海邦には古波津昇会長(拓南製鐵株式会社代表取締役社長)はじめ役員・会員が顔を揃えました。

主な議題として、平成25年度事業、収支決算の報告・承認が行われました。理事会や通常総会、執行部会といった通年行事や県産JIS製品優先使用に関する要請活動といった事業について詳細な説明がされました。

また、先だって8月13日に行われた会計監査の結果も報告され、収入支出とも適正であることが監事によって承認されています。なお、平成26年度の事業計画書(案)、収支予算書(案)も提出され、審議の結果、承認されました。

古波津会長は会員の一年間の労をねぎらい、活動への協力に感謝を述べるとともに、「JIS品質管理のスペシャリストをさらに増やしていくことが重要。人材育成、JIS製品のPRを通して今後いつそう会を発展させていきたい」と挨拶しています。

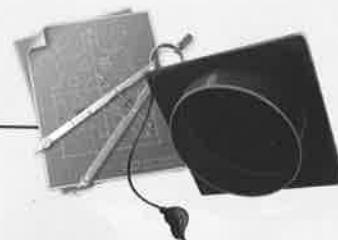
個人消費の低迷や為替変動、経済不況の影響による厳しい企業経営が続くものの、県内経済はわずかながら復調の兆しを見せていています。

JIS規格改正説明会やJIS製品の普及活動、インターネットホームページの強化といった具体策についても提案され、参加会員によって承認されています。それ以外にも本会の目的を達成するため必要な事業は積極的に行うということで意見が一致し、会を締めくくりました。

総会終了後には沖縄県工業連合会や内閣府沖縄総合事務局、沖縄県商工労働部といった関係機関からも来賓を招いての懇親会も開かれ、会員相互の交流を深めるいい機会となりました。経済や事業に関する意見交換にも熱が入り、本年度以降の会発展にも役立つ有益な時間を共有することができました。



琉球大学工学部後援会からのお知らせ



短いメッセージを自動処理するための取り組み

1.研究成果の概要

多種多様な文書が電子化され(半)自動的に処理されていますが、望みの文書を探し出す手段はキーワード検索に留まっています。例えば、「そのキーワードが含まれていないともヒトが中身をみれば関係していることが分かる文書」は検索しづらいでしょう。一方、一般的な言語(日本語等)で記述された文書を対象とした自然言語処理は、書籍や雑誌等のように編集者により一定の校正がなされた「綺麗で長文な文書」が前提となっていることが少なくありません。「綺麗で長文な文書」にはその文書で述べられているトピックに関連した単語や表現が数多く現れており、このような特徴傾向(パターン)を利用して例えは「あるトピックAに関連する文書か否か」を判別することが比較的容易です。これは、「トピックA」そのものが単語として文書に記述されていくとも探し出すことができるということを意味します。

しかしながら、モバイル端末等を用いた情報交換においては編集者が介在せず、より口語に近いことばで、誤字脱字も多く、身内でしか通じない隱語的表現も存在し、そして何より1度のやり取りに含まれる文字数自体が少ない傾向にあります。これらの問題全てと一度に向き合うことは困難ですが、一部を抽出した課題として「(学校や資格試験等で行われる試験における)設問」を取り上げ、自動処理することに取り組んでみました。「設問」を対象に選んだ元々の理由は「試験等の回答結果から自動で詳細ジャンル毎の得意不得意が分かるカルテのようなものを自動で作成したい(上記イメージ図参照)」というところから始まっていますが、「設問」は比較的短い文で記述されていることが多い、特徴的な傾向を見出すことが難しい課題です。

前述のように、設問には利用できる特徴自体が少ないとから、自動処理するための手段として(1)設問外情報の付与、(2)語の集約という2種類のアプローチを検討してみました。この手法がどの程度機能するかを基礎実験にて確認してみたところ、ジャンルによって効果の度合いは異なるものの、一部のジャンルにおいて有効に機能することが確認できました。つまり、部分的にではありますが「設問のような特徴が少ない文書」も対象として検索しやすくなりました。

まだまだ発展途上の段階で実用には程遠いですが、上述したように「ヒトなら比較的用意にできることをコンピュータに任せる」ためのデータ/テキスト/Webマイニングを題材に取り組んでいます。

2.発表論文

- 名嘉真之介、當間愛晃、赤嶺有平、山田孝治、遠藤聰志、"学習指導要領に基づいた設問自動分類タスクにおける語の集約による有効性の評価"、情報処理学会第75回全国大会(IPSJ2013)、6Q-7、2013
- 堀川敦弘、當間愛晃、赤嶺有平、山田孝治、遠藤聰志、"Twitterからの談話自動同定法の一検討"、第22回インテリジェント・システム・シンポジウム(FAN2012)、予稿集CD-ROM、2C3-5.pdf (2012/8/31)
- 山内一騎、當間愛晃、赤嶺有平、山田孝治、遠藤聰志、"タグランクを導入した情報推薦システムの検討"、第22回インテリジェント・システム・シンポジウム(FAN2012)、予稿集CD-ROM、2C3-4.pdf (2012/8/31)

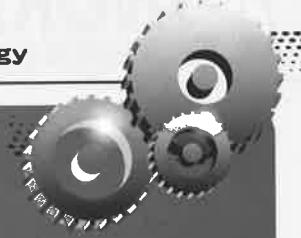
お問い合わせ先

琉球大学工学部後援会事務局(情報工学科内)

TEL:098-895-8662 FAX:098-895-8727

サマースクールを開催しました

開催日時：平成26年7月26日（土）



本校では、去る7月26日（土）に平成26年度サマースクールを開催しました。

今年度のサマースクールは、主に中学3年生を対象に模擬授業を行うことで沖縄高専への理解を深め、進路選択の参考にしてもらうことを目的としているものです。今年度は172名の中学生に参加していただきました。

当日は、一般科目（英語、数学、健康科学から1科目選択）の授業の後、4つの学科（機械システム工学科、情報通信システム工学科、メディア情報工学科、生物資源工学科）に分かれ、学科ごとに実験・実習等を含む授業が行われました。

昨年度から保護者及び学校関係者の方々を対象に学生寮見学ツアーを行っており、多くの保護者が参加されました。また、サマースクール終了後の昼食時間には本校レストランでの寮食体験を通じて、学生寮での生活の一端を体験していただきました。

受講者からは「授業だけじゃなく、実習もできて面白かった」、「高専の学科の特徴が分かった」などの感想をいただき好評でした。



英語（一般科目）の授業風景



数学（一般科目）の授業風景



健康科学（一般科目）の授業風景



機械システム工学科の授業風景



情報通信システム工学科の授業風景



メディア情報工学科の授業風景



生物資源工学科の授業風景

お問合せ先

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局（担当：喜屋武）

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133・FAX:0980-55-4012

E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ：<http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/index.html>



平成26年度能力開発セミナーのご案内

当大学校では、職業に必要な技術・技能及びこれに関する知識を習得しようとする在職者の方々に対し、個々の有する技術・技能に応じて段階的、体系的な能力開発セミナーを実施しています。平成26年10月から12月までに開講予定のコースを紹介いたします。また、オーダーメイドセミナーに関する相談も受け付けております。以下のコース以外についても、お気軽にお問い合わせください。

コース No	コース名	講座内容	講座日程 【実施時間】	訓練 時間	定員 (人)	受講料 (円)
MZ151	製品設計のための3次元設計技術(ソリッド編)	製品設計業務において効率的な業務展開、設計品質向上をめざして、強力な設計検証ツールである3次元CADの活用方法を習得する。	10月17日(金) 【18:00～21:00】 10月18日(土) 10月25日(土) 【9:00～16:00】	15	10	10,000
MZ171	状態保全(CBM)による設備管理技術	機械設備等による生産ラインの保全作業の効率的・最適化をめざして、設備保全の全体的な考え方と状態保全(CBM)についての摘要技術、コストの考え方などを習得する。	11月11日(火) 11月12日(水) 【9:00～16:00】 11月13日(木) 【9:00～12:00】	15	10	30,000
EZ821	Webを活用した生産支援システム構築技術	生産現場における生産活動全般の効率化をめざして、システム化・一元化された生産計画や製造指示、作業実績等のデータを有効活用するためのWebを活用したシステムを構築する技術を習得する。	10月25日(土) 10月26日(日) 11月1日(土) 【9:00～16:00】	18	10	9,500
E44	組込システム開発のためのモジュールテスト技術	組込機器製造の開発手段の効率化(改善)をめざして、実践的単体テスト活用技術を習得する。	10月17日(金) 10月18日(土) 【8:30～17:00】	15	10	18,000
EZ871	組込Linux実装技術	組込システム開発におけるシステムの改善や業務の効率化をめざして、組込Linuxシステム構築技術を理解して、システムの最適化のための開発・設計手法を習得する。	1月15日(木) 1月16日(金) 【9:00～16:00】	18	10	10,000
MZ311	PLCによる実践的FAセンサ活用技術	自動化整備の効率化、予防保全をめざして、生産ラインで使用されている代表的なFAセンサの選定方法や活用技術、PLCとの接続等を実習を通して実践的に習得する。	10月21日(火) 10月22日(水) 10月23日(木) 【9:00～16:00】	18	10	9,500
E1011	太陽電池利用技術	小型太陽電池発電におけるシステム設計の効率化・最適化をめざして、システム構成や最大出力追尾装置を習得する。	12月15日(月) 12月16日(火) 12月17日(水) 【9:00～16:00】	18	10	9,500

※地域企業の皆さんと一緒に“ものづくり”的悩み解決を行いたいと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。

お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校 (援助計画課 大根・赤嶺)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-4810・FAX.098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/> ●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html>

工業技術センターだより Okinawa industrial technology center

地域新産業創出基盤強化事業による導入機器の紹介 vol.4 ～新規試験研究・検査機器導入により、工業技術センターの基盤を強化しました～

本事業は、国際物流拠点型産業の発展可能性を背景に、沖縄地域における成長産業の育成や新産業の創出を図るべく、地域の中核的な試験研究機関の基盤強化を行うことを目的としています。

そこで、内閣府沖縄総合事務局より委託された株式会社トロピカルテクノセンターと一般社団法人トロピカルテクノプラスで事務局を設け、要望・技術課題等から10機器を選定し、各機器は沖縄県工業技術センターに整備されます。(前回の6月号、7月号、8月号にて5機器は紹介されております。)

整備した試験研究等設備については、広域的な活用に向け、説明会・セミナー等を通じ、周知を図って参ります。企業の皆様はじめ、積極的な活用をよろしくお願いいたします。

● 気流式粉碎機

乾燥素材向けの粉碎機で、気流によって試料を衝突させること(自生粉碎)で粉碎し短時間で粉碎可能なため、熱による品質変化が激しい素材に適しています。

分解清掃と対象物の交換が簡便である事が特徴です。県内には実製造用の機器はあるが検討には大量の素材を必要しますが、本装置は小量の素材で検討可能です。



日本プランテック(株)
エアータグミル微粉碎機 MP2-350型

● アトマイザー

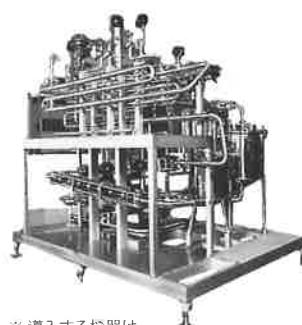
微粉碎を目的とした装置で、回転ディスクに取り付けられたハンマーがその外周にセットされたプレートの内側を回転しながら衝突することで微粉化されます。粒度が安定し、処理能力が大きいことが特徴。熱に弱い素材には適さない場合があるが、様々な素材の粉碎に応用できる試験加工機です。



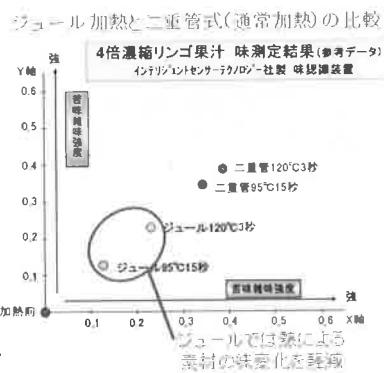
(株)ダルトン
サンプルミル K2W-1型

● ジュール殺菌装置

食品に直接通電し、自己発熱させるため、急速加熱が可能です。食材中の固形物も抵抗体になるので加熱可能で、調味液同様、短時間加熱が可能な為、素材由来の味や食感を残せます。食材自身が自己発熱するので、熱伝達の悪い粘性食品でも均一に加熱できます。食品の日持ち向上に関する評価試験が検討できる他、ジュース等の退色軽減評価にも活用が見込めます。



(株)フロンティアエンジニアリング
ジュール加熱装置 FJL-L型



お問い合わせ先

沖縄県工業技術センター企画管理班(担当:花ヶ崎)

TEL:098-929-0111 FAX:098-929-0115 E-mail:hangskit@pref.okinawa.lg.jp



「人材不足分野における雇用管理改善」及び 「非正規雇用労働者の正社員転換等」に係る要請

今年6月時点での完全失業率が5.2%、有効求人倍率が0.68倍と沖縄県の雇用情勢が改善しつつある中、医療や建設といった一部分野では人材確保・定着のための雇用管理改善の推進が求められています。

人手不足の状況や労働者があかれている現状・問題について情報共有とともに、県内各団体・企業において、労働条件の見直し、非正規雇用労働者の正社員転換、労働者の安全・健康への取り組みといった整備を進めることを目的とした会が沖縄産業支援センターで行われ、仲井眞弘多沖縄県知事から沖縄県工業連合会他様々な分野の経済団体・業界団体に向けた要請文が手渡されました。

仲井眞知事は「安定した人材確保のため、行政、企業、医療、福祉すべてが協力しながら『雇用の質』向上へ取り組んでいきたい」とし、関係機関の連携を求めました。県とともに「みんなでグッジョブ運動」に取り組んでいる沖縄労働局の谷直樹局長も、「人材は企業にとって貴重であり、優秀な人材の確保は企業経営基盤の安定につながる。労働局としても積極的に支援していきたい」と話しました。

要請を受け、沖縄県経営者協会の安里会長は、「慢性的な人手不足に悩む企業は多く、雇用のミスマッチを改善し、働きがいのある魅力的な職場作りを目指して労働環境を整えたい」と語ると同時に、労働局やハローワークにおける支援策も必要と行政の協力を仰ぎました。

その他団体からもそれぞれの分野から見た現状、課題、対応策について活発に意見が交わされ、雇用管理改善に向けて一歩前進する貴重な時間となりました。



会員の皆様へ 「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか？

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新商品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当：座間味

機械設備の増設・更新をお考えの皆様へ ～機械類貸与制度のご案内～

機械類貸与制度とは

中小企業の皆様が必要とする機械等の設備を
有利な条件で割賦販売またはリースを行う制度です。



無担保です！（貸与する設備が担保となります）



公的融資の融資枠・保証枠に影響しません！（運転資金に余力が生まれます）



2.3% の固定金利です！（割賦販売の場合）



元金支払いが 1 年据置です！（割賦販売の場合）

◆ご利用対象者の方

- ・県内中小企業で原則 1 年以上業歴を有すること（一部対象外業種あり）

◆対象となる設備

- ・県内の自社内に設置し、自社で使用する新品の設備・機械等（中古は対象外です）

※100 万円から 8,000 万円までの金額であること（得認制度あり）

※構築物や機械設備の設置費用は含まれません

設備の一例



検査装置



蒸気ボイラー



フォークリフト



冷凍車

◆割賦販売とリースの相違点

	割 賦 販 売	リース
金利	2.3%（固定金利）	1.356%～2.955%（月額リース料率）
融資期間	7 年以内（元金 1 年据置）	3 年～7 年
保証金	契約金額の 5% (最終年の元金と利息に充当します)	不要
その他必要経費	固定資産税・損害保険等の保険料	特になし
所有権等	完済までは公社が所有権者となります	所有権者は公社となります

◆ご利用対象者の方

※申込から貸与決定まで概ね 1 ヶ月程度を要しますので、早めのご相談をおすすめします。

- ・直近 3 ヶ年分の決算書（付属明細含む）・設備見積とカタログ・借入金返済予定表

お問合せ先

公益財団法人沖縄県産業振興公社 総務部 融資課 担当：上原・屋良

〒901-0152 沖縄県那覇市小禄 1831 番地 1 沖縄産業支援センター 4 階 TEL. 098-859-6236

スイッチをつけると

照明が部屋を明るく照らす。

ボタンひとつでテレビがついて、

電子レンジは夕食を温めてくれる。

会社のパソコンが、工場の機械が、

人々の仕事を助け

暗くなると街灯はいつの間にか

夜道をやさしく照らしている。

意識することなく

毎日の暮らしの中にある電気。

その電気を確実に

あなたのもとへ届けること、

それが私たちの仕事です。

毎日の暮らしの中で意識されないこと。

あたり前と感じてもらえること。

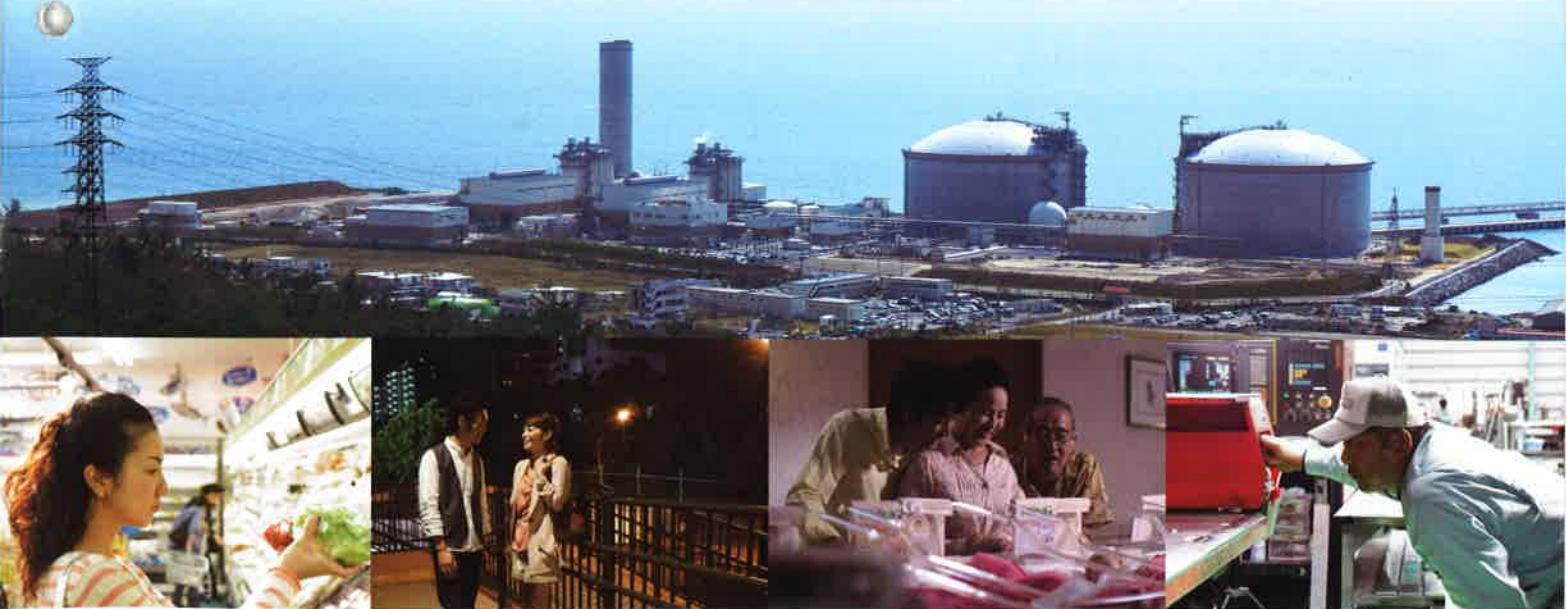
今日もスイッチをつければ

何事もなく明かりがつくこと。

それが私たちの誇り。

必要な人、待っている人、その暮らしの中へ

今日も確実に、
安全に。



地域とともに、地域のために



沖縄電力